

会

派

の

意

見



文責は各会派にあります

## 日本共産党

全戸配布で行った「市民アンケート」へのご協力ありがとうございました。切実な声ばかりで、政治の役割が強く問われています。これまでも1450事業所へのアンケート送付や、介護・福祉・保育事業所への聞き取り、学校保護者アンケートなどを取り組み、市に8回・192項目の申し入れを行ってきました。

そのもとで今回、高齢者タクシー券支給、子育て応援券、住宅リフォーム助成、感染発生の福祉事業所へ

の支援、介護従事者や保育士・教員などへのワクチン優先接種などが実現しました。国にワクチン接種体制の改善を求める意見書も出せました。

「議員定数2人削減」が突如提案、可決されました。「市民が大変」というなら、議員がもっと市民の声を聴き、市民を守る提案をどんどん行うのが議会の役割だ、と訴えました。

「議会は何をしている」その思い真摯に受け止めます。一方で、コロナに無為無策で危機を広げているのは自民党政治です。「野党共闘で政権交代」「市民のくらし・生業を守る議会」へ、いっそう頑張ります。

## 輝（かがやき）

この6月議会では、長引く新型コロナウイルス感染症への対策として、国の「子育て世帯生活支援特別給付金給付事業」や、市独自施策となる「ながすく応援券事業」（十八歳以下の子ども1人あたりに5千円の商品券を給付）の経費などが予算化されました。

そして、会派「輝」からは、登壇した順番で、進藤議員から「デジタルディバイド対策について」の1項目、富田議員から「シティブロモ

ションについて」などの3項目で、一般質問をさせていただきました。質問と答弁の概要は、この議会だよりに掲載され、市議会ホームページには録画が配信されています。

この任期も残り少なくなりましたが、私たち「輝」の議員は、それぞれの得意分野を活かして、一般質問や委員会質疑において、行政側に市政課題についての意見反映を行ってまいりますので、引き続きご指導・ご支援をたまわりますよう、どうぞよろしくお願いたします。

大伴雅章・綿谷正巳・富田達也・宮小路康文・進藤裕之

## 平成市民クラブ

新型コロナウイルス感染拡大で、人々の暮らしは大きく変わりました。外出自粛要請で経済や雇用が不安定になり、働き方や教育の在り方も変貌しました。6月議会では、未来を担う子どもの健やかな成長と地域経済支援のため、18歳以下の子ども一人につき5千円の商品券を、75歳以上の高齢者等にタクシー券を給付する予算議案に賛成し可決されました。皆様には継続して3密回避・手洗い等感染予防の徹底をお願いします。

一般質問では、立地適正化計画に関して質問し、子育て環境の充実のため誘導施設に教育文化施設を加え、防災の観点も盛り込むことを検討する等の答弁を得ました。（仮称）中小企業振興条例の制定に関しては、検討会の構成員やスケジュールの具体的な答弁を、またインクルーシブな公園施設については今後順次進めること、教育振興に関しては教育の目指すところ等の答弁を得ました。

私達は、快適で住みやすいまちづくりと、安全安心で豊かな市民生活実現のため取り組みます。  
三木常照・中小路貴司

## 平成西山クラブ

6月議会では、未だ終息の見通しのたない新型コロナウイルスにより厳しい経済状況が続くなか、子育て世帯に対し、18歳以下の子どもに一人5千円のながすく応援券、商工会に対し、プレミアム額30%の一部補助があるリフォーム工事券、75歳以上か、65歳以上75歳以下の方で要件に当てはまる方に対し、タクシー移動応援券を一人2千円支援することにしました。

議員定数について、市民から定数

の2名削減を求める請願が出され、

委員会では不採択、本会議においては採択されました。また、議員からも、議員定数条例の一部改正についての議案が出され、本会議において2名削減が可決されたため、10月に執行される市議会議員一般選挙から適用されることとなりました。

新型コロナウイルス接種予約のスタート時は大変混乱し、ご迷惑をおかけ致しましたが、高齢者においては、8月末までには、接種希望者全員の接種が完了する見込みとなりましたので、ご安心ください。

上村真造・白石多津子・田村直義

## 公明党

令和3年6月定例会において一般会計補正予算案と専決処分の報告および全ての議案が承認・可決されました。今回の補正では、福祉事業者緊急対応支援事業・「ながすく応援券」18歳以下の子ども一人あたり5千円の商品券・「高齢者等移動支援」として一人あたり2千円のタクシー利用券の給付・「リフォーム工事」等地域経済の下支えとなる、市独自の支援策が盛り込まれました。

一般質問では、東部地域の安全対

策と停留所の空白地から要望があった東部バスの新たな停留所の設置について、早期実現を訴えました。

コロナ禍における困窮者支援・若者の定住促進や人材確保に繋がられる奨学金返還支援事業を提案・ヤングケアラー（中高生）への実態調査を行い早期に見出し支援に繋がっていくよう強く要望いたしました。

今世界中が終わりの見えないパンデミックの中にあります。コロナ禍で顕在化した課題を正面から見据え、今後も公明党のネットワーク力を活かし、全力で取り組んで参ります。

福島和人・山本智・石井啓子

## 平成自由クラブ

長引く新型コロナウイルス感染症の拡大により市民は長期間に渡り自粛生活を余儀なくされ、社会活動や経済活動は激変し、日常の生活様式も様変わり致しました。緊急事態宣言下で始まりました令和3年6月議会にて可決致しました一般会計補正予算では、新型コロナウイルス感染症拡大で影響を受けた事業所や家計を支援する為に、18歳以下の市民一人につき5千円分の市内で使える商品券を支給する長岡京市ながすく応援券事業や、高齢者等の移動支援として75歳以上の高齢者等に一人に2千円分のタクシー利用券を支給する高齢者等タクシー移動応援事業や、商工会が発行するリフォーム工事券のプレミアム率上乘せ等の新型コロナウイルス対策プレミアム工事補助金などが盛り込まれました。

ウイルスの変異などの影響で収束が見通せない中でございますが、皆様の不安が和らぎますよう、市民の皆様の声をしっかりとお聞きし、行政と議論を重ねてまいり、課題解決に努力してまいります。

八木 浩・富岡浩史・小野洋史

会派とは同じ意見や考えを持つ議員が集まってつくるグループのことです。ここでは6月定例会で審議された内容について、各会派の意見を紹介します。

